

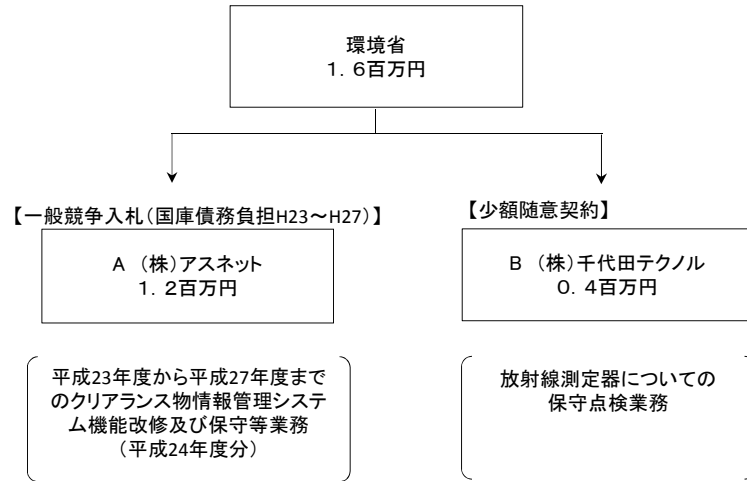
平成25年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	クリアランス廃棄物対策関連経費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～	担当課室	適正処理・不法投棄対策室	適正処理・不法投棄対策室長 是澤 裕二				
会計区分	一般会計	政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-5 廃棄物の不法投棄の防止等					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	原子炉等規制法第72条の2の2 放射線障害防止法第48条の2	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	クリアランス制度の導入にあたり、本制度の厳格な運用を行うとともに、万一の事態にも対応できるようクリアランスされた廃棄物等のトレーサビリティを確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	原子炉等規制法及び放射線障害防止法に基づき排出されるクリアランス物のトレーサビリティを確保するための管理システムを運用等するとともに、地方環境事務所による立入検査の実施及びそれに伴う知識の習得・放射線測定機器の点検整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	18	20	9	2	3	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額		18	20	9	2	3	
	執行率 (%)		7	11	2			
			39	55	22			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	クリアランス物のトレーサビリティが確保できていない 事案件数		成果実績	件	0	0	0	0
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	クリアランス物排出件数		活動実績 (当初見込み)	件	1	3	2	—
				1	(3)	(1)	(1)	
単位当たりコスト	(0.8百万円/排出件数)		算出根拠	単位当たりコスト = 執行額 / 排出件数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	2	3					
	計	2	3					

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			△	クリアランス物の処理に当たっては、クリアランス制度導入の前提とすべき社会的受容が必ずしも十分でない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	（不用率大きい理由） システム改修費及び機器改修を当初実施する予定であったが、より緊急性の高い廃棄物処分基準等設定費の調査業務を優先的に行った。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	放射線障害防止法が改正されたため、クリアランス物の排出件数が今後急増する可能性がある。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	本事業と類似した事業は存在しない。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	クリアランス廃棄物情報管理システムは、平成23年度に4年間の契約期間で一般競争入札による調達とし、調達の公平性・透明性を高めた。平成24年度、平成25年度は、引き続き保守点検業務を計上している。 システム改修費及び機器改修を当初実施する予定であったが、より緊急性の高い廃棄物処分基準等設定費の調査業務を優先的に行った。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	139	平成23年	130	平成24年	138

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.(株)アスネット			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	月次保守業務(平成24年度分)	0.3			
	年次保守業務(平成24年度分)	0.2			
賃貸借費	サーバ機器等、ソフトウェア式の賃貸借 (平成24年度分)	0.7			
計		1.2	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アスネット	平成23年度から平成27年度までのクリアランス物情報管理システム機能改修及び保守等業務(平成24年度分)	1.2	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)千代田テクノル	放射線測定器についての保守点検業務	0.4	随意契約	—